

講義名	日本語資格試験講座 【N1対策】(2年生以上)			授業形態	
担当教員	新井 佳子	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

日本語能力試験N1合格に必要な言語知識(文字・語彙・文法)、読解、聴解の基礎力を身につけ、強化することを目的とする。授業では、N1の問題を解いてもらい、それに関して詳しく解説する。

到達目標

- ・N1レベルの言語知識(文字・語彙・文法)、読解力、聴解力を身につけ、活用できるようになる。
- ・大学や普段の生活の中で必要な日本語を理解することができるようになる。
- ・学習目標を達成するために、自ら計画を立て、実行できるようになる。

提出課題

課題(ワークシート等)については、授業中に指示する。毎回の授業で小テストを課す。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

試験や課題について、授業中にフィードバックを行う。

評価の基準

授業への参加度、課題(30%)、小テスト(10%)、中間試験(30%)、模擬試験(30%)

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回、出欠をとる。
- ・15分以上の遅刻は欠席とみなす。
- ・遅刻3回で1回の欠席となる。
- ・全授業回数の1/3以上欠席した場合は、学期末の試験を受けることができない。
- ・授業には辞書を持って来ること。

教科書

.使用しない。

参考図書

.日本語能力試験N1語彙必修パターン.	氏原庸子他	Jリサーチ	1760	9784863922426
.日本語能力試験N1文法必修パターン.	氏原庸子他	Jリサーチ	1760	9784863922334

その他

授業中に、あるいはポータルを通じて資料を配布する。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション、実力テスト(言語知識)
- 第2回 実力テストのフィードバック、文字・語彙、文法
- 第3回 文字・語彙、読解(内容理解)
- 第4回 文字・語彙、読解(内容理解)
- 第5回 文字・語彙、読解(内容理解)
- 第6回 文字・語彙、読解(総合理解)
- 第7回 文字・語彙、読解(主文理解)
- 第8回 中間試験
- 第9回 中間試験フィードバック、読解(情報検索)
- 第10回 文法、聴解(読解理解、ポイント理解)
- 第11回 文法、聴解(概要理解)
- 第12回 文法、聴解(即時応答)
- 第13回 文法、聴解(総合理解)
- 第14回 模擬試験
- 第15回 模擬試験のフィードバック、振り返り

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/>	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート		エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション		カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(ABL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)		

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・事前に配布する資料について、分からない語彙や文法を調べておくこと。(90分程度)
- ・授業中に学習した語彙や文法を確認し、習得すること。また、間違った問題を見直すこと。(90分程度)
- ・目標を達成するための自主学習をすること。(60分程度)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、実用的かつ基礎的な日本語能力を修得するとともに、知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考